年間授業計画 様式

国分寺 高等学校　令和６年度　教科　家庭科　科目 家庭基礎

教　科： 家庭科　科　目： 家庭基礎　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：渡辺真理子

使用教科書：（「家庭基礎」つながる暮らし共に創る未来・教育図書　）

教科　家庭科　の目標：

【知識及び技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技術を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域社会における生活の中から課題を発見し、解決策を構想して、その実践を評価改善し、論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人と協同し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭・地域社会の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につけている。

科目　家庭基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
講義や実習を通して学んだことを生かし、将来主体的に生活を営むために必要な知識と技術を十分に身につけている。	あたえられた課題について、調べた資料やデータなどから必要なことがらを整理、し自分の考えを的確に入れ込みながら、読み手にわかりやすく表現することができる。	家庭科の内容への深い関心を持ち、主体的・意欲的に授業実践に取り組み、自分や家庭・地域社会の生活の充実向上を図ろうとすることができている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・家族とは何か様々な観点から考えて自分の価値観を導く。 ・男女の社旗的役割について理解をする。また、自分の問題として意識する。 ・高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようにする。 ・日本の高齢化の特徴を知り、高齢者の現状と課題について理解する。高齢者の生活を支える制度を知る。	〈家族〉 〈高齢期〉 〈ミシン実習〉	【知識・技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域社会における生活の中から課題を発見し、論理的に表現するなど、生涯を通して、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな人と協力し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭・地域社会の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。	○	○	○	10
	・基本的な衣服制作の技術を身につける。 ・自分自身の衣生活を通して衣服や日常の衣生活に関心を持つことができる。 ・状況に合わせた衣生活の大切さや、資源の有効活用の観点から、購入・活用・手入れ」再利用・廃棄まで考えた衣服生活の計画を立てることができる。	〈ミシン実習〉 〈衣生活〉 〈夏の課題〉ホームプロジェクトなど	【知識・技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域社会における生活の中から課題を発見し、論理的に表現するなど、生涯を通して、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな人と協力し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭・地域社会の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。	○	○	○	14

2学期	・子どもの心身の特徴や発達・遊びの意義をとらえ、子どもにとって良い環境について考え、自分なりの意見を持つ。 ・親の役割や子どもを産み育てることの意義を学ぶ。 ・子育てを支える社会の仕組みを知り、これからの子どもを育てる世代になることを実感する。	〈子どもの成長を見つめる〉 〈子どもを取り巻く環境〉	【知識・技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域社会における生活の中から課題を発見し、論理的に表現するなど、生涯を通して、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな人と協力し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭・地域社会の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。	○	○	○	6
	・人と住まいの関わりや機能について理解する。 ・住居の平面図を読み取ることができるようになる。 ・家族のライフステージや状況に合わせた適切な住まいについて理解する。	〈私たちの住まい〉 〈一人くらしの住まい・借りるには〉　〈インテリアデザイン〉	【知識・技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域社会における生活の中から課題を発見し、論理的に表現するなど、生涯を通して、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな人と協力し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭・地域社会の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。	○	○	○	8
	・食事や健康の関わりを理解する。 ・日常用に用いられる食品について栄養や食品の特徴について理解する。 ・調理の基本的な技術を身につけ、安全や衛生面に配慮した献立について考えることができる。 ・料理の盛り付けや配膳やマナーの基本を理解する。 ・現代の食生活の問題点や課題、食文化の継承と創造」について認識する。	〈現代の食生活〉 〈私たちの食べているもの〉 〈栄養と食品〉 〈食事のマナー〉 〈栄養バランス〉 〈調理実習〉日本食・中国料理・西洋料理	【知識・技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域社会における生活の中から課題を発見し、論理的に表現するなど、生涯を通して、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな人と協力し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭・地域社会の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。	○	○	○	16
3学期	・家計の仕組みについて理解する ・消費行動と社会的責任を理解する。 ・キャッシュレス（消費者金融の仕組み）について知る。 ・消費者問題の現状を理解し、消費者保護の仕組みを知る。 ・社会保険と私的保険との仕組みを知る。 ・家計の金融資産について知る。 ・今まで学習したことを踏まえてライフプランを立てる。	〈家計とお金の将来について〉 〈何をどうやって買う〉 〈賢い消費者になろう〉 〈自分らしい生き方の実現〉	【知識・技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域社会における生活の中から課題を発見し、論理的に表現するなど、生涯を通して、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな人と協力し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭・地域社会の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。	○	○	○	16
1年	共生・環境 ・環境問題について基本的な内容を理解する。 ・持続可能な社会を実現するための社会の取り組みについて理解する。 ・自分の消費行動が社会に与える影響について理解し、持続可能な社会のためのどのように行動したらよいか考える。	※全領域で入れる	【知識・技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域社会における生活の中から課題を発見し、論理的に表現するなど、生涯を通して、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな人と協力し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭・地域社会の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。	○	○	○	
							合計 70